

新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために



猛威を振るっている新型コロナウイルスについて、国内では散発的に小規模な複数の患者の集団（クラスター）が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。



感染拡大を防ぐために



今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、小規模な複数の患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止です。

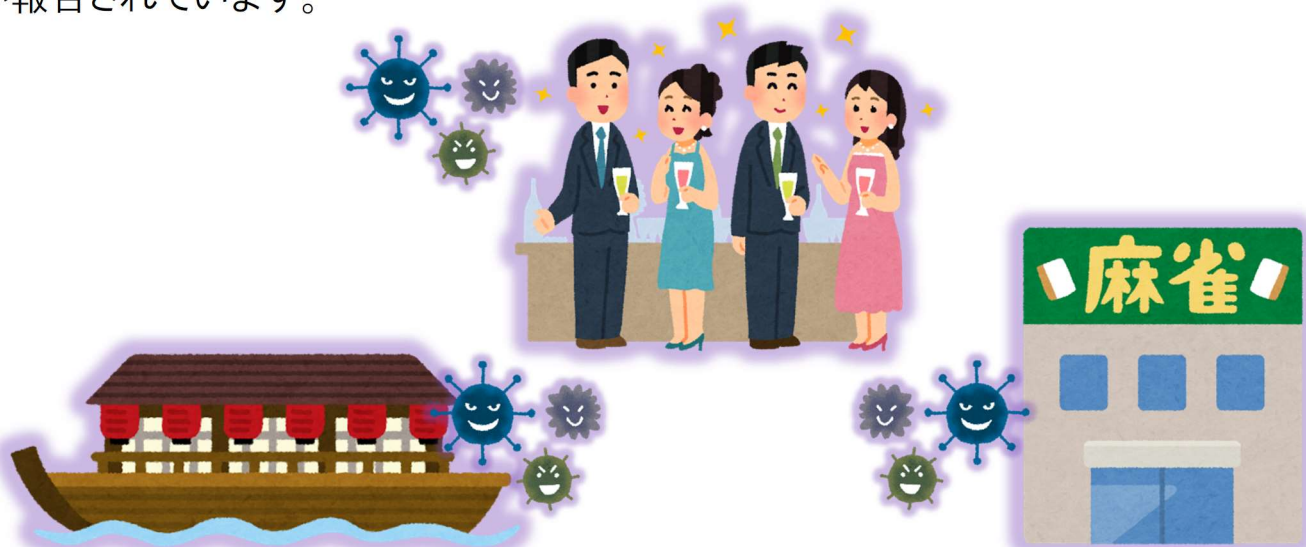
「小規模患者クラスター」とは…

新型コロナウイルスの感染者で、感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。



感染経路の特徴について

これまでに国内で感染が明らかになった方の内 8 割の方は、他の人に感染させていません。一方、スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどでは、一人の感染者が複数に感染させたという事例が報告されています。



集団感染の共通点

集団感染の共通点として…

- ① 換気が悪い場所
- ② 人が密に集まって過ごすような空間
- ③ 不特定多数の人が接触する恐れが高い場所



…等があげられます。

組合員の皆様へのお願い

「換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まること」を避けてください！

イベント等を開催する方々は、風通しの悪い空間や人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、**その開催の必要性について検討するとともに**、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

不特定多数の方が集まる
空間に注意！



※これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。

作成：関東信越税理士国民健康保険組合
さいたま市大宮区桜木町 4-376-1
TEL:048-631-2211 FAX:048-644-3030



こちらのQRコードをスマートフォンで読み込むと組合HPへアクセスできます。

参考：厚生労働省